

金融危機が世界に広がる中で、気付かないうちに相当の円高になっている。少し前から円高への移行の可能性について発言はしていたが、現実の動きは想定以上に速くなっている。ただでさえ世界的な景気後退で苦しんでいる日本の輸出企業だが、この円高は厳しい。ただ、円高を嘆いてばかりはいられない。この試練を乗り越え、競争力を強化する機会としてほしい。



伊藤元重の

## ニュースな見方

### 金融危機で円高加速

向への動き、そして欧州やアジア通貨に対する円安などが複合して、円の実質実効為替レートは大変な円安になってきたのだ。この円安は輸出企業にとつては大変な追い風となった。自動車も家電も、円安のおかげで、欧州やアジアの競争相手に比べてコスト優位を享受することができたのだ。

しかし、このような円安の流れは、日本の企業のグローバル展開の動きを弱めたのではないだろうか。多

に陳列されているのを見る。安だったたので問題はなかつた。しかし、円高になれば、飛行機に乗ると、日本人より韓国人の方がはるかに多い。韓国メーカーは自国の中だけでは生きていけな

るようである。それでも円安だったたので問題はなかつた。しかし、円高になれば、飛行機に乗ると、日本人より韓国人の方がはるかに多い。韓国メーカーは自国の中だけでは生きていけな

## 新興国進出の機会に

のを見方をすれば、円安だから国内から輸出しても十分に採算にあつたということだ。中国やアジアを歩いてみると、日本の家電製品を押しつけてサムスンやLGと競争相手の後塵を拝している。欧米市場はさておいて、今後成長が望める新興国市場で日本企業は他国の

の成果として出ている。欧米市場はさておいて、今後成長が望める新興国市場で日本企業は他国の

（東大大学院 経済学研究科長）

\*この記事・写真等は日経新聞社の許諾を得て転載してあります。